

春の感謝祭 報告

6月23日に予定されていた恒例の「春の感謝祭」は、雨のため2度順延となり7月1日になりました。

梅雨の晴れ間の真夏の暑さと、臨時活動日の金曜日に当たったため、会員参加者48名でした。ビジターとして、スペースビジョン研究所(調査機関)3名、奈良県庁2名、詩人・作家の寮美千子さんで、参加者の総数は54名となりました。



紫陽花の咲くベースキャンプでは、女性メンバーがカレーライスの準備に取り掛かりました。



じゃがいも、玉ねぎ、茄子、ピーマン、ズッキーニ、大蒜を入れました。エコファームグループが、苗作りから丹精込めて育てたならやま産の有機野菜です。加えて肉、人参、カレーウです。また、西出さんから提供していただいた御所市の清流で生産された白米(ヒノヒカリ)と、ならやま産の黒米を炊いてご飯



が出来上がりました。今年は、会設立15周年、ならやま景観整備10年の記念すべき年にふさわしい、野菜たっぷりの「ならやま特製カレーライス」が出来上がりました。また、野菜サラダは、ならやま産のサニーレタス、胡瓜、赤玉ねぎです。それに、女性メンバーから漬物の提供がありました。午前中の作業を終えて、各グループの会員がベースキャンプに戻ってきました。



11時30分より、春の感謝祭がスタートしました。2つの大鍋に入れられたカレーライスを、女性メンバーか

からお皿に、たっぷり入れていただきました。各自、野菜サラダ、漬物を取り食べ始めました。会員、ビジターの皆さんの満足そうな顔、顔、顔でした。暑さのため疲れた身体も、冷たいお茶、食後のならやま産南高梅の梅ジュースで喉を潤し、元気を取り戻すことができました。(当日の奈良市最高気温32.2°C)。午後の作業



は、7月に入ったため各グループは自由参加になりました。スペースビジョン研究所と奈良県庁の

5名の皆さんは、パトロール班に同行していただき、ならやま里山景観の自然観察をしていただきました。

ならやまの自然の恵みと、カレーライス作りの女性メンバー、エコファームグループの皆さんに感謝の一日でした。今年の春の感謝祭は、楽しく無事に開催することができました。

来年は、今年のように春の感謝祭の開催日の順延がなく、多くの会員が参加されることをねがっています。(青木 芳一)